

剣道

剣道指導者審判講習会

下瀬先生を講師に審判法を基礎から学ぶ

No. 176

三木市剣道連盟
広報部

4月～6月号

平成28(2016)年

7月10日(日)発行

- 剣道指導者審判講習会(1面)
- 全日本剣道演武大会に初参加・第39回東播少年剣道大会(2面)
- 別所公春祭り共催剣道大会結果(3・4・5面)
- 中兵庫少年剣道大会結果(6・7面)
- 三木市中学校総合体育大会剣道の部(8面)

◎本紙は三木市剣連HP(<http://mikikeren2011.web.fc2.com/>)でもご覧になれます。PDFでカラー印刷できます。

4月10日(月)、午前9時30分から三木市加佐コミュニティースポーツセンターで、三木市剣道連盟平成28年度最初の成人指導部の事業である「剣道指導者審判講習会」が、下瀬澤生(たくお)教士七段を講師に開催され、一般会員36名、高校生9名計45名が参加した。冒頭、神澤正輝三木市剣道連盟会長が、「こんな質問したら笑われるかも知れない」ということでなく、下瀬先生に気軽に質問できる『今さら聞けない審判法』、そんな講習会にしましょう。」と話した。

下瀬氏からの約20分の講話では、審判は可能な限り有効打突を見逃さず、勇気をもって旗を上げることや、選手の動きを読んだ位置取りの大切さを強調、また、待機中に腕組みや足を組んだりして、試合を見に来ている人にだらしない印象を与えてはいけない、毅然とした態度で臨むように、といったことを指導された。これらのことをはじめとして、下瀬氏が社会教育講習会で学んだ成果を資料を基に伝達された。



下瀬氏は、試合を中断させては、審判員の旗のあげ方、旗の巻き方や立つ位置、有効打突の有無などを指摘。時には見ている参加者の意見を聞いたり、参加者からの質問に答えたりしながら、細かい点まで適切に指導された。

審判歴の浅い会員を含め受講者は下瀬先生の説明をうなずきながら聞き、時々メモを取っていた。

下瀬氏は、試合を中断させては、審判員の旗のあげ方、旗の巻き方や立つ位置、有効打突の有無などを指摘。時には見ている参加者の意見を聞いたり、参加者からの質問に答えたりしながら、細かい点まで適切に指導された。

講習会後、会員同士の稽古が行われ、全員で気持ちの良い汗を流した。

(報告) 広報部 澤田 薫

